

世界を伝えるプロになろう



日本の人口は50年後には現在の67%にまで減る一方、開発途上国の人口は現在でも世界の8割であり、経済も改善され世界経済の50%を占めるまでになります。そんな世界の流れの中、私たちにはどんな教育が求められるのでしょうか。
「Think globally, Act locally!(世界規模で考え、足元から行動する)」という言葉にあるように、今、世界と地域の課題のつながりを一人ひとりが

考え、持続可能な社会を築くために行動することが求められています。
国際理解・開発教育はそのつながりを体験を通して深く考え、地域や自分も見直し、授業者も参加者も互いに参加・表現しながら学び合う教育活動で多様な校種・教科に対応できます。
また、ワークショップやファシリテーションなど学習を深める手法もあわせて学びます。

私たちの地域（沖縄）と世界をつなげる学びを一緒に体験しませんか。

開催日程（入門・中上級）：全3回シリーズ（詳細は裏面に記載）

- 【入門編】**
- 第1回目●
平成27年7月25・26日（土・日）
 - 第2回目●
平成27年8月20・21日（木・金）
 - 第3回目●
平成28年2月13日（土）

- 【中・上級編】*入門編参加者も参加可**
- 第1回目●
平成27年7月4日（土）
 - 第2回目●
平成27年11月28・29日（土・日）
 - 第3回目●
平成28年2月14日（日）



昨年度教師海外研修写真（ザンビア国）



■□募集要項□■

■参加条件

- ① 授業もしくは課外活動で国際理解・開発教育もしくは関連活動を実践されている方、興味・関心をお持ちの方(学校教育現場以外の方でも実践場所がありましたら参加可能です)。
- ② プログラム全ての参加をおすすめします。
- ③ 受講後、県内で開催される、国際理解・開発教育支援事業に協力可能な方が望ましいです。
- ④ 中・上級編は入門編参加者も参加可能ですが、国際理解・開発教育の基礎がある前提の講座となります。

■定員：各40名

■募集〆切：6月30日（火）

■会場：JICA沖縄国際センター 住所：浦添市前田1143-1

■参加費：無料

- ・交通費、食費、宿泊費は自己負担(本研修はJICAと沖縄県教育委員会との連携覚書に基づく同会後援のものです。学校により職専免や公務出張扱いになる場合がございますので、所属長にご相談下さい。)
- ・空室がある場合に限り、JICA沖縄国際センターの宿泊施設もご利用いただけますので、応募時もしくは実施の1週間前までにご連絡ください。(経費は自己負担)
- ・昼食、マイカップのご持参をおすすめします。(JICA沖縄食堂エスニックもご利用いただけます。)
- ・無料駐車場あり

■応募方法

◇Email: JICA沖縄国際センターまたは、NPO法人沖縄NGOセンターのHPから応募用紙をダウンロードし、Emailに添付して沖縄NGOセンター(onc@oki-ngo.org)まで送信ください。

◇FAX: 応募用紙に必要事項を記入し、沖縄NGOセンター(FAX:098-892-4758)まで送付。

■学生もしくは本講座に興味のある方へ

運営ボランティアとしての参加は可能ですので、是非ご参加下さい。教職を目指している方、国際問題や協力活動に関心のある皆様をお待ちしています。プログラムによっては講座・ワークショップ自体に参加可能なものもあります。まずは下記までご連絡下さい。

⇒NPO法人 沖縄NGOセンター TEL:098-892-4758 / Email: onc@oki-ngo.org

このような研修を受けるモチベーションが、出て明日から学校頑張ろう！という気持ちになります。

参加者のこえ

“何を教えたいか”ではなく、“何を伝えたいか”の問いかけ次第で考えることや思うことが違ってくる。発問の仕方は大切だということ学んだ。

こんなに分かりやすい平和教育は初めてでとても気持ちが動かされた戦争の恐さを伝えることだけでなく、その次どうするかにつなげることが大切だと思った。

共有の時間も大切



100人村体験中



参加型ワークショップ体験中



申し込み:
NPO法人 沖縄NGOセンター
〒901-2211 宜野湾市宜野湾3丁目23-52
TEL:098-892-4758 FAX:098-892-9908
Email: onc@oki-ngo.org

全講座会場:
JICA沖縄国際センター(浦添市前田1143-1)
主催: JICA沖縄国際センター
後援: 沖縄県教育委員会
事業運営: NPO法人沖縄NGOセンター

入門編

講座内容

☆英語、国際理解教育や社会科のみならず、多様な教科で利用可能なワークが盛りだくさん
☆教材／手法の体験から手法、教材づくりまで学べます
☆講義形式よりも参加型の学習活動を重視し、実践につながりやすい講座です
☆教材の「体験」「作成」「実践」「振り返り」のプロセスを経て、参加者自身が国際理解教育・開発教育のプロになることを目指します

プログラム

第1回目「“どっぷり”教材体験」

平成27年7月25・26日（土・日）9：30～17：30

初心者のために、有名なワークショップを体験し、国際理解・開発教育への理解を深める。
* 内容(予定): 参加型ワークショップ体験: 貿易ゲーム、世界がもし100人の村だったら、他

第2回目「“じっくり”教材・実践計画作成」

平成27年8月20・21日（木・金）9：30～17：30

初回の講座同様、ワークショップ体験を行いながら、県外講師から講義、ワークショップ教材指導案作成を学び、その後グループに分かれてオリジナル教材の作成を行う。
* 内容(予定): 参加型ワークショップ体験、教材作成体験、他

第3回目「“すっきり”実践報告・振り返り」

平成28年2月13日（土）9：30～17：30

最後の振り返りを深めるワークショップを体験。第2回目県外講師が新テーマのワークショップを提供。参加者の実践・教材の発表と意見交換、講座全体の振り返り。
* 内容(予定): 参加型ワークショップ体験、参加者(有志)実践発表、意見交換、他

中・上級編

講座内容

☆本編は、主に本講座入門編や教師海外研修で学び現場で実践している方同士が、実践を共有しつつ、実践の幅を広げたり、内容を深めるためのものです。* 入門編対象者でも参加も可能です。但し、本講座は入門編で行っている基礎の共有は致しません。内容は中・上級編のみとなりますことをご理解願います。

プログラム

第1回目「参加型を広げよう、これまでの実践者の発表・共有」

平成27年7月4日（土）13：30～16：30

過去に本講座受講者、教師海外研修で学び、学校現場実践している方の実践共有の場です。
* 内容(予定): 参加者実践発表、意見交換、他

第2回目「深く、深く、ファシリテーションを学び合う」

平成27年11月28・29日（土・日）10：00～16：00

県外講師とワークショップ、ファシリテーションを学び合う。ファシリテーター、参加型の進め方を深めていく本格的なワークショップです。

第3回目「国際理解・開発教育をひろげよう」

平成28年2月14日（日）10：00～15：00

一般市民、教員の方を対象に参加型手法(ワークショップ)の実践、紹介を行う。
* 内容(予定): 参加者(有志)実践発表、意見交換、他

入門編

参加型教材・手法の紹介（予定ですので、当日変更の可能性もあります。）

A

【ワークショップ版「世界がもし100人の村だったら」】※必須

内容: 世界の多様性をクイズや体を動かしながら楽しく学ぶ大人気ワークショップ。世界63億人の人口を100人の村に見たてて世界の現実をわかりやすく身近に感じさせる。2001年インターネットで世界中に反響を及ぼしたメール「100人村」を教材にしたもの。ファシリテーター: 県内現職教員
手法やキーワード: ロールプレイ、世界の多様性、現状理解、貧困、紛争、富の分配

B

【貿易ゲーム】※必須

内容: ゲームのプロセスを通して貧困が生まれてくる世界の経済/貿易の裏の構造、先進国・途上国の不平等な現状に気付く大人気の有名教材。ファシリテーター: 県内現職教員
手法やキーワード: 疑似体験、世界経済/貿易、南北問題、格差、構造理解、交渉

C

【ジェンダーにみる国際問題】※必須

内容: 私たちの普段の日常に潜む社会的性差に気づく。世界で起きている性差による現状を知り、日本と世界のジェンダーの問題を学び合う。ファシリテーター: 県内NGOスタッフ
手法やキーワード: 男女の性差、ディスカッション、分析

D

【ワークショップ「ひめゆり」】※必須

内容: 終戦から70年。次世代へどう平和学習をつなぐかということ、沖縄戦についての参加型ワークショップを通して考える。アニメ「ひめゆり」を鑑賞し、自分がどんなことを感じ、他の人がどんなふうに感じているのか共有するワーク。ファシリテーター: ひめゆり平和祈念資料館学芸員
手法やキーワード: 平和、平和祈念資料館、ひめゆり

E

【自己肯定感(セルフエスティーム)を高める】※EかFの選択

内容: 国際理解・開発教育とは遠くの見えない誰かのことを思い、私たち一人ひとりの行動を変えていくことから変化がまず求められます。この時間は、自分を変える上で、まず自分自身が大事な一人の人間であるという感覚を養うためのワーク。ファシリテーター: 県内現職教員
手法やキーワード: 自己理解、自尊感情、自己肯定、人権尊重

F

【ALTと学ぶ国際交流】※EかFの選択

内容: 県内外国人講師を通し、異文化と出会い、コミュニケーションを交わすことの面白さを学ぶ。体感しながら語学を学ぶ面白さを体験し、その手法を知る。ファシリテーター: 県内ALT教員
手法やキーワード: 国際理解、コミュニケーション、外国人と共に学ぶ

外部講師紹介(県外)

入門編
第2回目



丸山まり子(まるやま まりこ)氏
教室や地域で、参加型で学ぶ人権教育を実践。「難民問題」や「食肉と部落問題」などのテーマを、足もとと世界をつないで考える視点で教材化し、子どもから大人まで学べる開発教育のプログラム作りに取り組んできた。2014年3月まで奈良県小学校教員。
◇関西セミナーハウス開発教育研究会運営委員
◇地球市民フォーラムなら運営委員

中・上級編
第2回目



伊沢令子(いざわ れいこ)氏
1998年にNIED・国際理解教育センターを設立。参加型の研修・講座、参加と共働のプロセスデザイン、教材づくり等を通じて、よりよい質の教育とまちづくりをめざしている。人権、環境、国際理解、共生、コミュニケーション、まちづくりなどに関わる参加型ワークショップの実施。
◇NPO法人NIED・国際理解教育センター 代表理事
◇中京大学現代社会学部 非常勤講師(国際理解教育論)
◇愛知学院大学総合政策学部 非常勤講師(コミュニケーション論)